

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	科学についてのコミュニケーション及び意思決定の国際的な整合的発展
研究テーマ名	エネルギー、化学物質、水管理政策における市民参加型の意思決定手法に関する国際比較
研究代表者	大久保規子
所属機関・部局・職	大阪大学・大学院法学研究科 教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>多岐にわたる環境政策の意思決定過程に関し、国際比較の観点から市民参加のありかたを探ろうとするプロジェクトで、有効な参加制度がないエネルギー分野、すでに取り組みがなされている化学物質分野、国際的紛争が起きている水管理分野の3分野を選択したことが有効に働いていると評価できる。また国際共同研究として、世界各地における当該テーマの専門家との活発な研究交流を行っており、論文の作成数、研究会の開催回数、国際会議の開催などにおける研究成果は目覚ましいものがある。しかし、個別の 이슈への各論的な取り組みとなっており、研究全体としての総合的で一貫性のある成果を挙げているとは言い難い側面もある。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い。